

研修医セッション

第1会場 (福大メディカルホール)

13:10 ~ 15:20

座長・審査員：加藤 雅人 ひらまつ病院外科
川崎 雅之 国立病院機構大牟田病院
福田 実 日本赤十字社 長崎原爆諫早病院

K-01 縦隔及び頸部に連続する嚢胞性腫瘍を認め術前診断に苦慮した多発胸腺嚢胞の一切除例

○有野 聡、藤野 孝介、村井 翔一、濱崎 博一、西 航、新地 祐介、松原 恵理、大隅 祥暢、池田 公英、鈴木 実
熊本大学 呼吸器外科

K-02 肝転移のみを繰り返す肺腺様嚢胞癌術後症例

○松本 侑大¹⁾、山本 聡²⁾、松永 晴貴²⁾、田村 創³⁾、福島 範子⁴⁾、新井 相一朗⁵⁾
1) 高邦会高木病院研修センター、2) 高邦会高木病院 呼吸器外科、3) 国際医療福祉大学成田病院 呼吸器外科、4) 高邦会高木病院 肝臓病内科、5) 久留米大学病院 肝・胆・膵外科

K-03 降下性壊死性縦隔炎に対して頸部および縦隔ドレナージ術を行い、治療に成功した一例

○木下 祥仁、藤野 孝介、有野 聡、村井 翔一、濱崎 博一、西 航、新地 祐介、松原 恵理、大隅 祥暢、池田 公英、鈴木 実
熊本大学 呼吸器外科

K-04 気管分岐下リンパ節転移を認めた ALK 遺伝子陽性肺癌の1例

○阪本 海也、上田 雄一郎、三股 頌平、平田 朋久、若原 純一、宮原 聡、増田 佳子、中島 裕康、早稲田 龍一、白石 武史、佐藤 寿彦
福岡大学病院 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科

K-05 Pembrolizumab により治療効果が得られた SMARCA4 欠損腫瘍の一例

○丸岡 浩也¹⁾、徳永 佳尚²⁾、田中 智大²⁾、高木 怜子²⁾、東 公一²⁾、星野 友昭²⁾
1) 久留米大学病院 臨床研修センター、2) 久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門

K-06 Nivolumab と Ipilimumab 投与後に1型糖尿病を発症した悪性胸膜性中皮腫の1例

○上川 耀世、吉村 将、岡村 晃資、原田 大志
独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院

K-07 呼吸器内科の臨床研修で最も多くの症例を経験できるローテーション時期についての検討

○安藤 菜々子¹⁾、河野 文耶²⁾、濱廣 友華²⁾、能勢 直弘²⁾、児嶋 健吾³⁾、味志 裕介³⁾、天神 佑紀³⁾、山口 哲朗³⁾
1) 宮崎県立延岡病院、2) 宮崎県立延岡病院 呼吸器外科、3) 宮崎県立延岡病院 呼吸器内科

K-08 Chilaiditi 症候群を合併した横隔膜弛緩症に対する横隔膜縫縮術により人工呼吸器を離脱できた一例

○中尾 彩乃、木谷 聡一郎、宮崎 拓郎、土肥 良一郎、谷口 大輔、小畑 智裕、
竹井 大貴、松本 桂太郎
長崎大学 腫瘍外科

K-09 進行非小細胞肺癌に対するデュルバルマブ+トレメリマブ+プラチナ併用療法の治療中に生じた胆管消失症候群の一例

○富岡 秀悟¹⁾、梅山 泰裕¹⁾、岩永 充月¹⁾、田中 康大¹⁾、緒方 良介¹⁾、宮村 拓人¹⁾、
梅村 明日香¹⁾、福田 雄一¹⁾、林 洋子²⁾、早田 宏¹⁾、迎 寛³⁾
1) 佐世保市総合医療センター 呼吸器内科、2) 佐世保市総合医療センター 病理診断科、
3) 長崎大学病院 呼吸器内科

K-10 肺癌によるがん関連静脈血栓塞栓症として門脈血栓症を発症した一例

○三宅 泰平、瀬戸口 大地、山下 耕輝
長崎県五島中央病院 呼吸器内科

K-11 気管支鏡検査で診断に至らなかった縦隔原発ホジキンリンパ腫の一例

○荻野 裕行¹⁾、松本 理宗²⁾、田川 努²⁾
1) 長崎医療センター 研修医、2) 長崎医療センター 呼吸器外科

K-12 肺単一病変として発見され肺癌との鑑別が困難であった IgG4 関連呼吸器疾患の 1 例

○鬼頭 貴之¹⁾、松本 理宗²⁾、田川 努²⁾
1) 国立病院機構 長崎医療センター 研修医、2) 国立病院機構 長崎医療センター 呼吸器外科

K-13 当院で経験した高悪性度胎児型肺腺癌の 1 例

○大村 直也¹⁾、池田 喬哉¹⁾、夫津木 遼¹⁾、末原 照大¹⁾、乗富 大地¹⁾、原 敦子¹⁾、
石飛 俊介²⁾、三浦 史郎²⁾、松本 理宗³⁾、田川 努³⁾、近藤 晃¹⁾、迎 寛⁴⁾
1) 国立病院機構長崎医療センター呼吸器内科、2) 国立病院機構長崎医療センター病理診断科、
3) 国立病院機構長崎医療センター呼吸器外科、4) 長崎大学病院呼吸器内科

K-14 後縦隔に発生した気管支原性嚢胞の一例

○中辻 祥太郎¹⁾、大崎 敏弘²⁾、定直 日菜²⁾、篠原 伸二²⁾、岡 壮一²⁾
1) 小倉記念病院 初期研修医、2) 小倉記念病院 呼吸器外科